

第137回エイズ動向委員会
委員長コメント

《平成26年第1四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成25年12月30日～平成26年3月30日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は243件（前回報告295件、前年同時期227件）
そのうち男性229件、女性14件で、男性は前回（282件）より減少、前年同時期（216件）より増加、女性は前回（13件）及び前年同時期（11件）より増加
3. 新規AIDS患者報告数は89件（前回報告108件、前年同時期114件）
そのうち男性87件、女性2件で、男性は前回（101件）及び前年同時期（107件）より減少、女性は前回（7件）より減少、前年同時期（2件）と同数
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は332件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが178件（全HIV感染者報告数の約73%）
 - 異性間性的接触によるものが44件（全HIV感染者報告数の約18%）
そのうち男性32件、女性12件
 - 静注薬物によるものは1件（うち、その他に計上されているものが1件）
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが44件（全AIDS患者報告数の約49%）
 - 異性間性的接触によるものが27件（全AIDS患者報告数の約30%）
そのうち男性26件、女性1件
 - 静注薬物によるものは2件
 - 年齢別では、30～40代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成26年1月～3月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は27,471件（前回報告34,161件、前年同時期22,211）
自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は8,011件（前回報告8,916件、前年同時期7,044件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は37,298件（前回報告43,820件、前年同時期33,285件）

【献血の概況（平成26年1月～3月）】

1. 献血件数（速報値）は、1,254,924件（前年同時期速報値1,304,418件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は20件（前年同時期速報値23件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.594件（前年同時期速報値1.763件）

《まとめ》

1. 前回に比し、新規HIV感染者報告数、新規AIDS患者報告数はともに減少した。
2. 前回に比し、保健所等におけるHIV抗体検査件数、相談件数ともに減少、前年同時期に比し、増加した。
3. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名HIV抗体検査および相談を積極的に利用していただきたい。